ICTニュース

大阪府済生会中津病院　感染対策チーム

2019年6月号
Vol.70
（2019年6月5日発行）

手足口病と伝染性紅斑（りんご病）

本稿では夏の感染症として、手足口病と伝染性紅斑を取り上げます。

まずは**手足口病**（hand, foot, and mouth disease：HFMD）について。手足口病は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に主に夏季に流行する疾患です。基本的には数日間の内に治癒する予後良好の疾患であるとされていますが、少数ながら髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を呈することが以前より知られています。2011年以降、1年おきにコクサッキーA6（CA6）が流行の中心ウイルスとなる年は大きな流行となっていて（図1）、**2019年は大きな流行となることが予想されます**。6月は子供を中心に患者数が急増し、成人の罹患例も少なからず認められると思われますのでご注意ください。

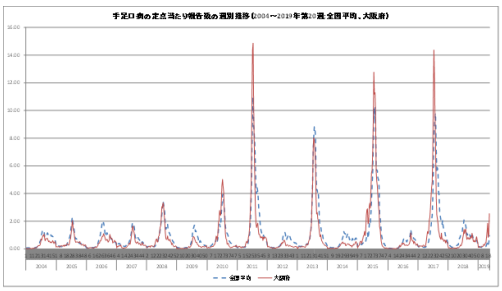

図1. 手足口の定点当たり報告数の週別推移（2004年～2019年第20週；全国平均、大阪府）（国立感染症研究所ホームページhttps://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.htmlよりデータをダウンロードしてグラフを作成）

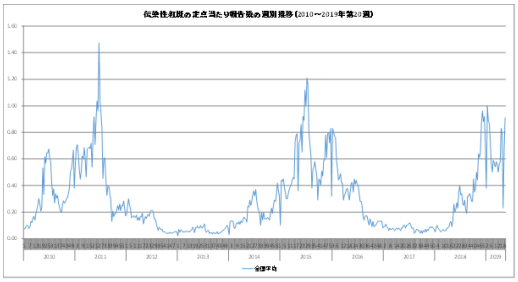

図2. 伝染性紅斑の定点当たり報告数の週別推移（2010年～2019年第20週；全国平均）（国立感染症研究所ホームページhttps://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.htmlよりデータをダウンロードしてグラフを作成）

次に、パルボB19ウイルスを原因ウイルスとする**伝染性紅斑**です。4～5歳の幼児を中心に幼児、学童に好発する感染症であり、10～20日の潜伏期間を経て出現する両頬の境界鮮明な紅斑と腕、脚部を中心に両側性に出現するレース様の皮疹を臨床的特徴としていて、頬部の紅斑から**別名りんご病**とも呼ばれています。子どもが罹患した場合は殆どが軽症なのですが、**妊婦が感染した場合には胎児にも感染して胎児水腫や流産・死産の原因になる**ことが知られていて、これが問題となります。伝染性紅斑は日本国内では4年毎に大きな流行を繰り返す感染症であり、2019年は2015年以来の**流行年となることが予想**されます（図2）。もう既に昨年、一昨年の水準を大きく上回っていますが、6月は更に患者数が増加することが予想されますので注意が必要です。

感染管理室　安井良則

風しん第5期定期接種の対象職員の皆様へお願い

厚生労働省は、2019年から2022年3月末までの約3年間、**昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性**を対象に、風しんの抗体検査を実施し、検査の結果、風しんに対する抗体価が十分でない方については、予防接種法上の定期接種（**風しん第5定期接種**）を実施する方針を示しました。実施に当たり定期接種の対象者へは、住民登録をしている市町村から抗体価検査及びワクチン接種に使用できる『**クーポン券**』が送付されます。クーポン券を利用することで、風しんの抗体検査及びワクチン接種について、原則無料で受けることができるようになります。これを踏まえ、当院では、恒例となりました5年ごとの4種（麻しん・風しん・水痘・流行性耳下腺炎）抗体価フォローアップ検査を実施するに当たり、**風しん第5期定期接種と4種抗体価フォローアップ検査が重複する対象職員の方は、風しんの抗体価検査のクーポン券を優先的に利用していただきますようご協力をお願いします。**

感染管理室　川口尚子

★4種抗体価フォローアップ検査の対象者

＊最終抗体価検査が2015年3月31日以前の全職員（抗体価検査歴のない者も含む）

★風しん第5期定期接種の対象者

＊昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性

風疹をなくそうの会『hand in hand』より

クーポン券利用に関するご協力のお願い

既にクーポン券がお手元に届いている場合
⇒必ずクーポン券をご利用して抗体検査を受けてください

大阪市内にお住まい方で未だお手元にクーポン券が届いていない場合
⇒クーポン券がない方であっても住所確認をするだけで抗体検査が受けることができます。

大阪市以外にお住まいの方で未だお手元にクーポン券が届いていない場合
⇒住民登録している市町村にお問い合わせの上，必ずクーポン券の送付を依頼してください

後日、各部署へ抗体価検査のご案内と対象者リストを配布します。詳細に関しては、案内文をご確認ください。